目黒区の友好都市～日本各地と繋がろう～

目黒区民まつり「目黒のさんま祭」を通して目黒区と気仙沼市が交流していることはよく知られていますが、角田市や金沢市とも交流を深めていることはご存じですか。今回は、各都市との交流事業や編集員の旅行記も併せて紹介します。目黒区が日本各地と繋がっていることを感じてみてください。

気仙沼市（宮城県）

【友好都市まめ知識】

目黒区と気仙沼市は、1996年に三田公園で「第1回気仙沼まつり」を開催したのが交流の始まりです。毎年、田道広場公園で開催される「目黒のさんま祭」では、水揚げが盛んな気仙沼市からさんまの提供を受けています。2010年に友好都市の締結を行いました。

「目黒のさんま祭」

気仙沼市のキャラクター
海の子ホヤぼーや

中学生の自然体験ツアーin気仙沼

7月26日から28日まで、区内の中学生20名が宮城県気仙沼市において自然体験ツアーに参加しました。参加した中学生に直接インタビューをしました。自然宿泊体験教室とは一味違う魅力があったそうです。

▲十八鳴浜（くぐなりはま）

▲亀山山頂（撮影：椿荘・村上さん）

▲田中浜でシーカヤック体験

AQ1 印象に残ったことはありますか？
自然豊か、リピーター率が高い。

AQ2 現地の人と交流して感じたことは？
優しく丁寧に接してくれました。環境に配慮し、現地でできることを思いきり楽しみました。

AQ3 どんなことを体験しましたか？
・サップ、シーカヤックを体験しました。
・がんづき作り（蒸しパンに似たもの）
・くぐなり浜（クックッと音がなる浜）
・星空鑑賞、満天の星空を初めて見ました。

AQ4 学校の自然宿泊体験教室との違いは？
・3ヶ所の海で体験することができたこと
・自由度が高い
・海から出た時、砂を払い落とすのが大変だった。

AQ5 震災の話を聞くことができましたか？
宿のご主人がビデオを作って、当時の様子を話してくれました。今年、遺構・伝承館が建設されたので、最終日に見学することもできました。

知ろう、探ろう　繋がろう

磯編集員の旅行記

気仙沼（2018/08 訪問）

起伏に富んだ地形で、探索していてとてもおもしろい。3年前行ったときと比べてもかなり復興が進んでいて、本土と大島を結ぶ橋も完成を目前にしていた（2019年4月開通）。おいしい海鮮、かわいいゆるキャラ、豊かな自然にあふれる気仙沼、みなさんも一度足を運んでみてはいかがだろうか。

所要時間：新幹線一ノ関経由で4時間半、在来線のみだと12時間。仙台旅行とセットにすることをお薦めする。

海の子ホヤぼーや

角田市（宮城県）

【友好都市まめ知識】

目黒区と角田市は1982年に「目黒氏の子孫を訪ねて」という企画で、目黒区民が角田市に住んでいる目黒氏の子孫を訪ねたことが交流のきっかけになったそうです。目黒氏は武蔵国目黒村出身で、室町時代に東北地方を治めていた伊達氏から現在の角田市島田に領地を与えられ、移り住んだそうです。

牟宇姫
角田三代館主の石川宗敬公に輿入れした伊達政宗公の次女

※2008年に友好都市の締結を行いました。

小学生の農業体験学習

8月2日から4日まで、区内の小学5、6年生の男女15名が宮城県の角田市に、目黒区の交流事業の一環として農村体験で行きました。角田市は宮城県の南部に位置しています。この農村体験で、主に角田市内の見学や農業体験を行ったそうです。

二泊三日の農村体験は体験に行った皆さんのお話を聞いていると、かなり充実した楽しい3日間になっているようでした。

1日目は6時半頃に目黒駅に集合し、そこから電車を乗り継ぎ、お昼前には角田市内にある「仙南シンケンファクトリー」にて開会式を行いました。

午後からは納豆づくり体験、市内見学、かかし作りなどの体験をしました。夜にはタ食会でカレーライスを作り、花火大会を楽しんだそうです。

2日目は2、3人のグループに分かれて農業体験を行いました。グループごとにした農業体験は若干異なりますが、グループによっては収穫した野菜でピザを作ったりと、普段の生活ではできない特別な体験をしたそうです。

そして、最終日の3日目は田んぼアートの見学、閉会式、そして帰京し解散式を行いました。

今回、農村体験へ行ったみんなは、「角田市のことをたくさん知ることができました」「角田をずっと身近に感じられたのがいいと思いました」などと3日間の体験で楽しく多くの事を学べたようです。

また、「これからも目黒区と角田市の交流が続いて欲しいです」という感想も寄せられました。

体験後の8月28日には農村体験に行った児童の解団式も行われ、参加した15人とその家族が集まって、体験中の写真を見たり、思い出を語ったりと、賑やかな解団式となりました。

解団式で写真を見る参加者

磯編集員の旅行記

角田（2019/12 訪問）

阿武隈急行線が10月の台風で被災運休してしまい、たどり着くのに苦労した。たまたまお会いした地元の方も混乱していたので、一刻も早い復旧を願うばかり。現地では、市制施行60周年記念植樹に青木区長の名前を確認することができた。仙台からも近いので、ぜひ美しい山々をみなさん自身の目で。

所要時間：新幹線で仙台経由3時間、在来線のみだと6時間半。

角田市スペースタワー・コスモハウス

しだれ桜の植樹の碑
青木目黒区長の名前が

金沢市（石川県）

【友好都市まめ知識】

かつて加賀藩（現石川県）を治めていた前田氏が、1929年目黒区に前田家本邸（旧前田侯爵邸、目黒区駒場4丁目3-55）を建設したご縁（『めぐろう』5号で紹介）から、2017年に目黒区と金沢市は友好都市となりました。

旧前田侯爵邸 洋館

取材・文：櫻井真之、幸田容道、磯崇大

「いいね金沢」ロゴマーク

青少年ジャズ交流事業

1月12日から14日までの3日間、東京都立国際高等学校のJAZZ部が、金沢市で開催されるジャズコンサート、「The New Year Jazz Summit 2019 JAZZ GATE」に参加して、金沢市のみなさんと交流を深められたそうです。

青少年ジャズ交流事業は、目黒区と金沢市の青少年による交流事業を実施することによって、今後の両都市の、住民間の友好交流や協力関係の促進の機会になっていくことを目的としているそうです。

磯編集員の旅行記

金沢（2018/12, 2019/08 訪問）

北陸は個人的に好きなところが多く、計3回訪問している。兼六園や茶屋街などはもちろん、内灘のビーチや卯辰山、さらには路地裏の公園や小川まで、様々な見所があった。新幹線が開通してからはかなり行きやすくなったので、ぜひ気軽に訪問してほしいと思う。

所要時間：新幹線で3時間半、在来線のみだと越後湯沢経由で10時間。日帰りも可能。

はみだし図鑑❸　目黒の自然　夏

名称：ナデシコ　**場所：**目黒天空庭園（大橋1丁目9-2）
特徴：花言葉「無邪気」「純愛」
感想：５枚の花びらの形と色が印象的でした。ぜひ、探してみてください。（櫻井）